本資料は、投資家/ビジネスパートナーの皆様からのご要望に応えるため、アストラゼネカ英国本社（*AstraZeneca PLC*）が発表した、*2023 年通年および第 4 四半期業績発表*を日本語に翻訳し、参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。
本リリースには、本邦未承認および国内と異なる適応の情報を複数含みます。

2023 年通年および第 4 四半期業績

～第 3 四半期以降に承認された 3 つの新薬による力強い成長とパイプライン強化～

収益および EPS の概要

	2023 年通年 増減 (%)			2023 年第 4 四半期 増減 (%)		
	100 万ドル	実績	CER[1]	100 万ドル	実績	CER
- 製品売上	43,789	2	4	11,323	5	5
- アライアンス収益[2]	1,428	89	89	424	69	67
- 協業収益[2]	594	(1)	(1)	277	75	74
売上収益	45,811	3	6	12,024	7	8
売上収益（*COVID-19* を除く）	*45,488*	*13*	*15*	*12,036*	*16*	*16*
報告ベース EPS	$3.84	81	96	$0.62	7	5
コア[3]EPS	$7.26	9	15	$1.45	5	7

2023 年通年財務業績
（伸び率は恒常為替レート（CER）ベース）

- COVID-19 医薬品の収益は 37 億 3,600 万ドル減少したが、売上収益は 6%増の 458 億 1,100 万ドルを達成[4]
- COVID-19 医薬品を除いた売上収益は 15%増、製品売上は 14%増
- オンコロジーによる売上収益は 21%増、循環器・腎・代謝疾患（CVRM）は 18%増、呼吸器疾患（R&I）は 10%増、希少疾患は 12%増といずれも 2 桁成長を達成
- コア製品売上総利益率[5]は、低利益率の COVID-19 医薬品の売上減少を反映し 2 ポイント増の 82%
- コア営業利益率は、発表済みの *Beyfortus* の契約更新による利益を含め、2 ポイント増の 32%、計 7 億 1,200 万ドルとなり、コアその他営業収入として計上。第 4 四半期は、*Airsupra*、*Wainua*、および *Truqap* の上市に伴う投資の増加と販売経費の漸増によって販管費増となり、営業利益率が低下
- 通年のコア税率は 17%。第 4 四半期は、税務当局による審査、行政不服審査の申立てプロセス、およびその他の調整によりマイナスの影響を受けるも、定期的な知的財産のグループ内再編により相殺されたため、当四半期の税率は 10%
- コア EPS は 15%増の 7.26 ドル
- 2 回目の中間配当として 1 株当たり 1.97 ドルを発表したため、2023 年通年の配当は 1 株あたり 2.90 ドル

- 2024 年通年の売上収益およびコア EPS は、CER ベースでそれぞれ 2 桁台前半から 10%台前半の増加を見込む

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「アストラゼネカが設立 25 周年を迎えるにあたり、2023 年も 2 桁の増益を達成し、サイエンス分野での進展が実現したことを嬉しく思います。抗体薬物複合体や細胞療法など、有望なサイエンス領域への積極的な投資により、長期的な成功の基盤をしっかりと築いています。

2024 年には、世界各地での当社医薬品の継続的な採用により、更なる強力な成長を期待しています。ユニークな成長性のある医薬品のポートフォリオ、グローバルな事業展開、充実した研究開発パイプラインを生かすことで、私たちは業界リーダーとして成長を持続できるものと確信しています」。

前回の業績発表以降の主なマイルストーン

- 新規化合物 3 製品に対する初めての承認：*Truqap*（カピバセルチブ）、*Wainua*（eplontersen）、*Voydeya*（ダニコパン）
- バイオマーカー変異を有する HR 陽性/HER2 陰性進行乳がんにおける *Truqap*+フェソロデックス（CAPItello-291）、およびトランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー（ATTRv-PN）における *Wainua*（NEURO-TTRansform）の米国での承認。転移性胆道がん（mBTC）におけるイミフィンジ（TOPAZ-1）、および乳児の RS ウイルス（RSV）予防における *Beyfortus*（MEDLEY/MELODY）の中国での承認。血管外溶血（EVH）を伴う発作性夜間血色素尿症（PNH）におけるユルトミリスまたはソリリスに対するアドオン療法としての *Voydeya*（ALPHA）の日本での初の承認
- HER2 陽性転移性固形がんに対するエンハーツの米国での優先審査承認

ガイダンス（業績予想）

2023 年までの平均為替レートを基にした CER ベースで、2024 年通年の売上収益およびコア EPS に関するガイダンスを発表します。

売上収益は、2 桁台前半から 10%台前半の増加を見込む

コア EPS は、2 桁台前半から 10%台前半の増加を見込む

- 協業収益は、マイルストーンごとの成功報酬、および予想される特定の取引により大幅に増加の見込み

- その他営業収入は大幅に減少する見込み（2023 年通年には、*Pulmicort Flexhaler* の米国における権利売却による利益 2 億 4,100 万ドル、および *Beyfortus* の契約条件更新に関連する一時的な利益 7 億 1,200 万ドルを計上）
- コア税率は 18～22%を想定

当社は、買収関連負債から生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金等、報告ベースの業績の重要な要素を確実に予測できないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。本発表の最後にある将来予測に関する注意事項をご参照ください。

為替の影響

仮に 2024 年 2 月から 12 月までの為替レートが 2024 年 1 月の平均レートで推移した場合、2024 年通年の売上収益および 2024 年通年のコア EPS は、いずれも CER ベースの業績に対して 1 桁台前半のマイナス影響を受けると想定しています。為替レートに関する当社の感度分析を Table 19 に示します。

投資家向け説明会

アストラゼネカは、2024 年 5 月 21 日に投資家向け説明会を開催します。
詳細は、www.astrazeneca.com/investor-relations.html をご覧ください。

Table 1：2023 年第 4 四半期売上収益のパフォーマンスの主な要素

		増減 (%)		
収益項目	**100 万ドル**	**実績**	**CER**	
製品売上	11,323	5	5	＊ COVID-19 医薬品を除く 2023 年第 4 四半期の製品売上は 14%増加
アライアンス収益	424	69	67	＊ エンハーツは 2 億 8,100 万ドル（2022 年第 4 四半期：1 億 8,800 万ドル） ＊ テゼスパイアは 8,000 万ドル（2022 年第 4 四半期：3,700 万ドル） ＊ *Beyfortus* は 4,100 万ドル（2022 年第 4 四半期：0 ドル）
協業収益	277	75	74	＊ リムパーザの薬事上のマイルストーンは 2 億 4,500 万ドル（2022 年第 4 四半期：1 億 500 万ドル） ＊ *Beyfortus* の販売マイルストーンは 2,700 万ドル（2022 年第 4 四半期：0 ドル）
売上収益	12,024	7	8	＊ COVID-19 医薬品を除く 2023 年第 4 四半期の売上収益は 16%増

		増減 (%)		
治療領域	**100 万ドル**	**実績**	**CER**	
オンコロジー	4,989	23	24	＊ すべての主要製品および地域において好調な業績を達成
CVRM	2,702	18	18	＊ フォシーガの売上は 36%（CER ベースで 35%）増、ロケルマは 38%増、ロキサデュスタットは 27%増、ブリリンタは 5%（CER ベースで 4%）減

R&I	1,675	13	13	* ファセンラの売上は 10%（CER ベースで 9%）増、ビレーズトリは 72%増。サフネローおよびテゼスパイアも力強い成長を保持するも、第 3 四半期に米国でジェネリック医薬品の競合参入による影響を受けたシムビコートの 16%減により一部相殺
V&I	413	(64)	(66)	* COVID-19 mAb の売上は 600 万ドル増、バキスゼブリアの売上は 1,700 万ドル減（いずれも過去の契約に基づく）（2022 年第 4 四半期の売上：それぞれ 7 億 3,400 万ドルおよび 9,500 万ドル） * *Beyfortus* の売上は 1 億 2,200 万ドル。内訳は、サノフィに供給された製品の米国以外の総利益のアストラゼネカに対する分配率に応じたアライアンス収益 4,100 万ドル、販売マイルストーン達成による協業収益 2,700 万ドル、および製品売上 5,400 万ドル
希少疾患	1,971	9	9	* ソリリスの 15%（CER ベースでは 13%）減により一部相殺されるものの、ユルトミリスの売上は 39%（CER ベースでは 38%）増加 * 患者さんの需要の高さを反映し、ストレンジックの売上は 12%（CER ベースでは 13%）増、コセルゴは 46%（CER ベースでは 48%）増
その他医薬品	274	(33)	(32)	* ネキシウムは、日本でジェネリック医薬品との競争が激化
売上収益	12,024	7	8	

		増減 (%)		
COVID-19 を含む 地域別売上	**100 万ドル**	**実績**	**CER**	
米国	5,101	7	6	
新興国市場	2,783	2	8	
- 中国	1,382	16	16	
- 中国以外の新興国市場	1,401	(9)	2	
欧州	2,880	25	17	
その他既成市場	1,259	(9)	(6)	
COVID-19 を含む売上収益	12,024	7	8	* 成長率は COVID-19 医薬品の売上減少が影響（下表を参照）

		増減 (%)		
COVID-19 を除く地域別売上	**100 万ドル**	**実績**	**CER**	
米国	5,101	12	12	
新興国市場	2,791	15	22	
-中国	1,382	16	16	
-中国以外の新興国市場	1,409	14	27	
欧州	2,884	33	25	
その他既成市場	1,259	4	8	
COVID-19 を除く売上収益	12,036	16	16	

Table 2：2023 年第 4 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

項目	**報告ベース**	**報告ベース 増減**	**コア**	**コア増減**	**コメント[6]**
売上収益	120 億 2,400 万ドル	実績 7% CER 8%	120 億 2,400 万ドル	実績 7% CER 8%	* COVID-19 医薬品を除く 2023 年第 4 四半期の売上収益は 16%増 * 詳細は、本書の Table 1 および売上収益の項を参照

製品売上総利益率	80%	実績+6pp CER +6pp	80%	実績+3pp CER +2pp	+ 前年同期の売上総利益率は、エバシェルドの棚卸資産評価損および製造契約終了の影響により低下 * 製品の季節性、為替変動、およびその他の影響により、期間による製品売上総利益率の変動が予想される
研究開発費	30 億 7,300 万ドル	実績 17% CER 15%	29 億 1,400 万ドル	実績 15% CER 14%	+ パイプラインへの投資拡大 * コア研究開発費の対売上収益比は 24%（2022 年第 4 四半期：23%） + 四半期ごとのフェーズによる影響
販売費・一般管理費（SG&A）	53 億 7,100 万ドル	実績 16% CER 16%	40 億 3,400 万ドル	実績 13% CER 12%	+ 最近発売された製品および発売前製品の市場開発活動 * コア販売費・一般管理費 対 売上収益比率は 34%（2022 年第 4 四半期：32%） + 四半期ごとのフェーズによる影響
その他営業収入（および費用）[7]	1 億 700 万ドル	実績-43% CER -42%	1 億 700 万ドル	実績-17% CER -15%	– brazikumab の開発中止
営業利益率	10%	実績+1pp CER +1pp	23%	安定的	* 上記の製品売上総利益率、費用、ならびに営業外収入および費用のコメントを参照
純金融費用	3 億 3,700 万ドル	実績 7% CER 3%	2 億 5,900 万ドル	実績 5% CER 1%	+ 流動負債および社債発行の金利上昇 + 法人所得税残高に対する支払い利息の増加 – 現金および短期投資に対する受取利息の増加
税率	-7%	実績+9pp CER +13pp	10%	安定的	– 知的財産のグループ内購入 + 税務当局による審査、行政不服審査の申立て、および特定の繰延税金残高の変化 * 期間による税率の変動が予想される
EPS	$0.62	実績 7% CER 5%	$1.45	実績 5% CER 7%	* 報告ベースとコアとの差異の詳細は Table 14 に示す

Table 3：前回の決算発表以降のパイプラインのハイライト

イベント	医薬品	適応症／治験	イベント
薬事承認およびその他の薬事案件	*Truqap*	バイオマーカー変異を有する HR 陽性/HER2 陰性の進行乳がん（CAPItello-291）	薬事承認（米国）
	イミフィンジ	胆道がん（TOPAZ-1）	薬事承認（中国）
	Wainua	ATTRv-PN（NEURO-TTRansform）	薬事承認（米国）
	Beyfortus	RSV（MELODY/MEDLEY）	薬事承認（中国）
	ボイデヤ	EVH を伴う PNH（ALPHA）	薬事承認（日本）
薬事承認申請または受理*	リムパーザ	g*BRCA* 遺伝子変異陽性乳がん（術後補助療法）（OlympiA）	薬事承認申請（中国）
	リムパーザ+イミフィンジ	子宮体がん（1 次治療）（DUO-E）	薬事承認申請（米国、欧州、日本）
	エンハーツ	HER2 発現腫瘍（DESTINY-PanTumor02、DESTINY-Lung01、DESTINY-CRC02）	薬事承認申請（米国）、優先審査（米国）
	エンハーツ	HER2 陽性/HER2 低発現胃がん（1 次治療）（DESTINY-Gastric01）	薬事承認申請（中国）
	イミフィンジ+イジュド	NSCLC（術前補助療法）（AEGEAN）	薬事承認申請（欧州）

	Wainua	ATTRv-PN（NEURO-TTRansform）	薬事承認申請（欧州）
	ファセンラ	EGPA（MANDARA）	薬事承認申請（米国、欧州、日本）
	ユルトミリス	NMOSD（CHAMPION-NMOSD）	薬事承認申請（米国）
	ユルトミリス	gMG	薬事承認申請（中国）
主な第 III 相臨床試験結果およびその他の展開	イミフィンジ	NSCLC（切除不能、ステージ III）（PACIFIC-2）	主要評価項目未達成
	acoramidis[8]	ATTR-CM	主要評価項目達成

*米国、欧州および中国の薬事承認申請は申請受理を意味します。

今後のパイプライン進展

主要な臨床試験結果の予想時期については、臨床試験付録（Clinical Trials Appendix）（www.astrazeneca.com/investor-relations.html）3 ページの表をご覧ください。

Table 4：2023 年 1 月 1 日以降に開始された第 III 相試験

医薬品	試験名	適応症
ダトポタマブ デルクステカン	AVANZAR	NSCLC（1 次治療）
	TROPION-Lung07	非扁平上皮 NSCLC（1 次治療）
	TROPION-Breast04	トリプルネガティブまたは HR 低発現/HER2 陰性乳がんにおける術前/術後補助療法
	TROPION-Breast05	PD-L1 陽性の局所再発手術不能または転移性 TNBC
カミゼストラント	CAMBRIA-1	HR 陽性/HER2 陰性乳がんにおける術後補助療法
	CAMBRIA-2	HR 陽性/HER2 陰性乳がんにおける術後補助療法
Truqap	CAPItello-292	HR 陽性/HER2 陰性の進行乳がん
Volrustomig	eVOLVE-Cervical	高リスク局所進行子宮頸がん
	eVOLVE-Lung02	PD-L1 発現レベルが 50%未満の mNSCLC（1 次治療）
	eVOLVE-Meso	切除不能な悪性胸膜中皮腫（1 次治療）
	eVOLVE-HNSCC	未切除の局所進行 HNSCC
Rilvegostomig	ARTEMIDE-Biliary01	根治を目的とした BTC
Saruparib	EvoPAR-PR01	*HRR*m および非 *HRR*m mCSPC
zibo/dapa	ZENITH High Proteinuria	高蛋白尿を伴う CKD
サフネロー	DAISY	全身性硬化症
Baxdrostat	BaxHTN	治療抵抗性を含むコントロール不良の高血圧
テゼスパイア	CROSSING	好酸球性食道炎
ビレーズトリ	LITHOS	軽症または中等症喘息
	ATHLOS	COPD
pMDI ポートフォリオ	HFO1234ze+ビレーズトリ	COPD
	HFO1234ze	健康被験者における粘液線毛クリアランス
	HFO1234ze	喘息
トゾラキマブ	MIRANDA	COPD
Sipavibart（AZD3152）	SUPERNOVA	COVID-19 の予防
ユルトミリス	ARTEMIS	心臓手術関連の急性腎障害

ALXN2220	DepleTTR-CM	トランスサイレチン型アミロイド心筋症
Efzimfotase alfa（ALXN1850）	HICKORY	低ホスファターゼ症

コーポレートおよび事業開発

2023年11月、アストラゼネカはEvinova社を設立しました。設立の目的は、医療従事者、規制当局、および患者さんのニーズにより適合したデジタルヘルス・ソリューションの先進的な提供企業を目指すことにあります。Evinova 社は、臨床試験のデザインと実施の最適化を目的として、アストラゼネカがすでに全世界で使用し、効果が実証された大規模デジタル技術ソリューションの販売を最優先で進めます。世界大手の臨床研究機関である Parexel 社と Fortrea 社は、両社の幅広い顧客ベースに対して Evinova 社のデジタルヘルス・ソリューションを提供する契約を締結しています。

2023 年 12 月、アストラゼネカは、Icosavax, Inc（Icosavax 社）を買収する最終契約を締結しました。買収により、アストラゼネカは Icosavax 社が開発中の主要なワクチン候補である IVX-A12 を取得し、後期パイプラインを強化します。IVX-A12 は、RS ウイルスとヒトメタニューモウイルス（hMPV）2 つのウイルスを標的とする、将来ファースト・イン・クラスとなる可能性がある混合 VLP ワクチンで、第 III 相試験の準備が完了しています。RS ウイルスと hMPV はいずれも、60 歳以上の成人や、心血管疾患、腎疾患、呼吸器疾患等の慢性疾患患者における重症呼吸器感染症およびそれに伴う入院の主な原因となっています。合併契約の条件が満たされた場合、買収は 2024 年第 1 四半期に完了する見込みです。

2023 年 12 月、アストラゼネカは Gracell Biotechnologies Inc（Gracell 社）を買収する最終契約を締結しました。Gracell 社は、がんや自己免疫疾患の治療のために革新的な細胞療法を開発しているグローバルバイオ医薬品企業です。今回の買収に含まれる GC012F の獲得により、アストラゼネカの細胞療法パイプラインはさらに拡充されます。GC012F は、開発中の FasTCAR プラットフォームを用いた BCMA と CD19 を標的とする新規の二重標的 CAR-T 療法であり、臨床開発が進められています。GC012F は多発性骨髄腫や、その他の血液腫瘍および全身性エリテマトーデスを含む自己免疫疾患の、新たな治療法となる可能性があります。本取引は、規制当局の認可や Gracell 社株主の承認等、通常の取引完了条件に従い、2024 年第 1 四半期に完了する予定です。

2024 年 2 月、アストラゼネカは、米国メリーランド州ロックビルにある最先端施設に 3 億ドルの投資を行い、重要ながんの治験や将来的な商業的供給を目的に、救命のための細胞療法プラットフォームを設立すると発表しました。施設では、臨床試験のスケジュールと一致するように、最初にピボタル臨床試験用の CAR-T 細胞療法製造に重点を置き、現時点の臨床試験の需要を満たします。高度なスキルを有する従業員の雇用を新たに 150 人分以上創出し、まずは世界各国で臨床試験を実施できるよう、T 細胞療法の製造に注力します。今後、施設ではその他の治療領域のサポートにも重点を拡大する可能性があります。

サステナビリティのハイライト

アストラゼネカは、「持続可能な市場のためのイニシアチブのヘルスシステムタスクフォース」を通じて、グローバル大手のヘルスケア企業 4 社および再生可能エネルギー企業の Envision Energy とともに、中国における業界初の再生可能エネルギー供給の契約締結を発表しました。これにより、年間約 12 万トンの排出量（自動車 25,000 台分に相当）が削減されます。詳細は、「サステナビリティ」の項をご覧ください。

報告カレンダー

当社は、2024 年 4 月 25 日に 2024 年第 1 四半期決算を発表する予定です。

営業および財務の概況

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、百万米ドル（$m）単位で記載されています。別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2023 年 12 月 31 日までの 12 カ月間（「本年」または「2023 年通年」）を対象とし、2022 年 12 月 31 日までの 12 カ月間（2022 年通年）と比較、あるいは 2023 年 12 月 31 日までの 3 カ月間（「当 4 四半期」または「2023 年第 4 四半期」）を 2022 年 12 月 31 日までの 3 カ月間（「2022 年第 4 四半期」）と比較しています。「第 1 四半期」、「第 2 四半期」、「第 3 四半期」、および「第 4 四半期」は、2023 年のそれぞれの四半期を指します。

コア財務指標である EBITDA、純負債、製品売上総利益率（以前の「粗利益率」）、営業利益率および CER は、当社グループの要約連結財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより深くご理解いただくための有益な補足情報を提供すると考えています。これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優先されるものでもありません。

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- 組織改編に関連する費用および引当金（構造改革プログラムが資産化された IT 資産に及ぼす影響に関連する費用を含む）
- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く）
- アレクシオン社買収関連項目（主に買収した棚卸資産の公正価値調整と従業員株式報奨の差し替えによる公正価値の影響）
- その他の特定項目（主に企業結合の偶発対価に関連する帰属金融費用および公正価値変動、無形資産取得によって生じた特定のその他の支払債務に関する帰属金融費用および再測定調整、法的和解、ならびにアレクシオン社買収によって生じたその他の支払債務に関連する再測定調整）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外

コア財務指標の性質に関する詳細は、アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2022 の 63 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

製品売上総利益率（以前の「粗利益率」）は、製品売上と売上原価との差額を製品売上で除して計算されます。報告ベースの製品売上総利益率およびコア製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益、協業収益および関連費用の影響は除外されており、それにより製品売上の基本的な業績が反映されています。

EBITDA は、報告ベースの税引前利益に合弁会社および関連会社から生じた純金融費用ならびに減価償却費、無形資産償却費および減損費用を加算した値と定義されています。本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整表を参照してください。

営業利益率は、売上収益に対する営業利益の割合と定義されています。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、ならびに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表の要約連結財務諸表の注記 3「ネット借入」をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

売上収益

Table 5：治療領域および医薬品別業績（製品売上および売上収益）

	2023 年通年				2023 年第 4 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
製品売上	**100 万ドル**	**対合計 (%)**	**実績**	**CER**	**100 万ドル**	**対合計 (%)**	**実績**	**CER**
オンコロジー	**17,145**	**37**	**17**	**20**	**4,453**	**37**	**19**	**19**
- タグリッソ	5,799	13	7	9	1,419	12	6	6
- イミフィンジ[9]	4,237	9	52	55	1,135	9	51	52
- リムパーザ	2,811	6	7	9	741	6	8	8
- カルケンス	2,514	5	22	23	675	6	15	14
- エンハーツ	261	1	>3x	>3x	83	1	>2x	>3x
- *Orpathys*	44	-	34	42	11	-	n/m	n/m
- *Truqap*	6	-	n/m	n/m	6	-	n/m	n/m
- ゾラデックス	952	2	3	9	254	2	20	23
- フェソロデックス	297	1	(11)	(6)	79	1	7	7
- その他	224	-	(33)	(30)	50	-	(22)	(19)
バイオ医薬品：CVRM	**10,585**	**23**	**15**	**18**	**2,698**	**22**	**18**	**18**
- フォシーガ	5,963	13	36	39	1,606	13	36	35
- ブリリンタ	1,324	3	(2)	(1)	329	3	(5)	(4)
- ロケルマ	412	1	43	46	112	1	38	38
- ロキサデュスタット	271	1	38	45	63	1	28	28
- オンデキサ	182	-	21	23	53	-	35	34

- クレストール	1,107	2	6	11	247	2	10	12
- セロケン/*Toprol-XL*	640	1	(26)	(20)	144	1	(8)	(3)
- オングリザ	227	-	(12)	(8)	47	-	(9)	(7)
- ビデュリオン	163	-	(42)	(42)	39	-	(46)	(47)
- その他	296	1	(19)	(17)	58	-	(30)	(31)
バイオ医薬品：R&I	**6,107**	**13**	**6**	**8**	**1,590**	**13**	**10**	**10**
- シムビコート	2,362	5	(7)	(4)	520	4	(16)	(16)
- ファセンラ	1,553	3	11	12	420	3	10	9
- ビレーズトリ	677	1	70	73	199	2	72	72
- サフネロー	280	1	>2x	>2x	89	1	86	86
- テゼスパイア	86	-	>10x	>10x	35	-	>9x	>8x
- パルミコート	713	2	11	17	219	2	32	40
- ビベスピ	58	-	-	-	15	-	6	4
- *Daliresp/Daxas*	54	-	(72)	(72)	13	-	(56)	(55)
- その他	324	1	(23)	(20)	80	1	13	14
バイオ医薬品：V&I	**1,012**	**2**	**(79)**	**(78)**	**345**	**3**	**(69)**	**(70)**
- COVID-19 mAbs	132	-	(94)	(93)	6	-	(99)	(99)
- バキスゼブリア	12	-	(99)	(99)	(17)	-	n/m	n/m
- *Beyfortus*	106	-	n/m	n/m	54	-	n/m	n/m
- シナジス	546	1	(6)	(2)	164	1	(16)	(16)
- フルミスト	216	-	24	17	138	1	20	11
希少疾患	**7,764**	**17**	**10**	**12**	**1,971**	**16**	**9**	**9**
- ソリリス	3,145	7	(16)	(14)	715	6	(15)	(13)
- ユルトミリス	2,965	6	51	52	825	7	39	38
- ストレンジック	1,152	3	20	21	305	3	12	13
- コセルゴ	331	1	59	60	85	1	46	48
- カヌマ	171	-	7	8	41	-	(17)	(14)
その他医薬品	**1,176**	**3**	**(28)**	**(24)**	**266**	**2**	**(30)**	**(28)**
- ネキシウム	945	2	(27)	(22)	209	2	(30)	(28)
- その他	231	1	(32)	(30)	57	-	(28)	(27)
製品売上	**43,789**	**96**	**2**	**4**	**11,323**	**94**	**5**	**5**
アライアンス収益	**1,428**	**3**	**89**	**89**	**424**	**4**	**69**	**67**
協業収益	**594**	**1**	**(1)**	**(1)**	**277**	**2**	**75**	**74**
売上収益	**45,811**	**100**	**3**	**6**	**12,024**	**100**	**7**	**8**

Table 6：アライアンス収益

	2023 年通年				2023 年第 4 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER
エンハーツ	1,022	72	95	95	281	66	50	47
テゼスパイア	259	18	>3x	>3x	80	19	>2x	>2x
Beyfortus	57	4	n/m	n/m	41	10	n/m	n/m
バキスゼブリア：ロイヤリティ	-	-	n/m	n/m	-	-	n/m	n/m
その他のロイヤリティ収入	81	6	18	18	21	5	25	27
その他のアライアンス収益	9	1	6	9	1	-	>3x	>3x
合計	**1,428**	**100**	**89**	**89**	**424**	**100**	**69**	**67**

Table 7：協業収益

	2023 年通年				2023 年第 4 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER
リムパーザ：薬事上のマイルストーン	245	41	(31)	(31)	245	88	>2x	>2x
COVID-19 mAbs：ライセンス料	180	30	n/m	n/m	-	-	-	-
フォシーガ：販売マイルストーン	29	5	n/m	n/m	1	-	n/m	n/m

トラロキヌマブ：販売マイルストーン	20	3	(82)	(82)	-	-	-	-
Beyfortus：薬事上のマイルストーン	71	12	>2x	>2x	-	-	n/m	n/m
Beyfortus：販売マイルストーン	27	5	n/m	n/m	27	10	n/m	n/m
その他の協業収益	22	4	(52)	(52)	4	1	(88)	(89)
合計	**594**	**100**	**(1)**	**(1)**	**277**	**100**	**75**	**74**

Table 8：治療領域別売上収益

	2023 年通年				2023 年第 4 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER
オンコロジー	18,447	40	19	21	4,989	41	23	24
バイオ医薬品	18,389	40	(8)	(6)	4,790	40	(3)	(3)
- *CVRM*	*10,628*	*23*	*15*	*18*	*2,702*	*22*	*18*	*18*
- *R&I*	*6,404*	*14*	*7*	*10*	*1,675*	*14*	*13*	*13*
- *V&I*	*1,357*	*3*	*(72)*	*(71)*	*413*	*3*	*(64)*	*(66)*
希少疾患	7,764	17	10	12	1,971	16	9	9
その他医薬品	1,211	3	(31)	(27)	274	2	(33)	(32)
合計	**45,811**	**100**	**3**	**6**	**12,024**	**100**	**7**	**8**

Table 9：地域別売上収益

	2023 年通年				2023 年第 4 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER
米国	19,077	42	6	6	5,101	42	7	6
新興市場	12,025	26	2	9	2,783	23	2	8
- 中国	*5,876*	*13*	*1*	*7*	*1,382*	*11*	*16*	*16*
- 中国以外	*6,148*	*13*	*3*	*11*	*1,401*	*12*	*(9)*	*2*
ヨーロッパ	9,611	21	10	8	2,880	24	25	17
既成市場 RoW	5,099	11	(14)	(8)	1,259	10	(9)	(6)
合計	**45,811**	**100**	**3**	**6**	**12,024**	**100**	**7**	**8**

Table 10：地域別売上収益（COVID-19 医薬品を除く）

	2023 年通年				2023 年第 4 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万ドル	対合計 (%)	実績	CER
米国	19,077	42	14	14	5,101	42	12	12
新興市場	11,830	26	12	20	2,791	23	15	22
- 中国	*5,876*	*13*	*2*	*8*	*1,382*	*11*	*16*	*16*
- 中国以外	*5,953*	*13*	*24*	*35*	*1,409*	*12*	*14*	*27*
ヨーロッパ	9,597	21	19	17	2,884	24	33	25
既成市場 RoW	4,985	11	1	8	1,259	10	4	8
合計	**45,488**	**100**	**13**	**15**	**12,036**	**100**	**16**	**16**

財務実績

Table 11：報告損益

	2023 年通年	2022 年通年	増減 (%)		2023 年第 4 四半期	2022 年第 4 四半期	増減 (%)	
	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER
売上収益	**45,811**	**44,351**	**3**	**6**	**12,024**	**11,207**	**7**	**8**
-製品売上	43,789	42,998	2	4	11,323	10,798	5	5
- アライアンス収益	1,428	755	89	89	424	251	69	67
-協業収益	594	598	(1)	(1)	277	158	75	74
売上原価	(8,268)	(12,391)	(33)	(34)	(2,308)	(2,900)	(20)	(18)
総利益	**37,543**	**31,960**	**17**	**21**	**9,716**	**8,307**	**17**	**16**
製品売上総利益率	*81.1%*	*71.2%*	*+10 pp*	*+10 pp*	*79.6%*	*73.1%*	*+6pp*	*+6pp*
流通費用	(539)	(536)	1	2	(145)	(156)	(7)	(8)
-売上収益に占める割合	*1.2%*	*1.2%*	-	-	*1.2%*	*1.4%*	-	-
研究開発費	(10,935)	(9,762)	12	13	(3,073)	(2,625)	17	15
-売上収益に占める割合	*23.9%*	*22.0%*	*-2pp*	*-2pp*	*25.6%*	*23.4%*	*-2pp*	*-2pp*
販売費・一般管理費	(19,216)	(18,419)	4	6	(5,371)	(4,621)	16	16
-売上収益に占める割合	*41.9%*	*41.5%*	-	-	*44.7%*	*41.2%*	*-3pp*	*-3pp*
その他営業収入・費用	1,340	514	>2x	>2x	107	189	(43)	(42)
-売上収益に占める割合	*2.9%*	*1.2%*	*+2pp*	*+2pp*	*0.9%*	*1.7%*	*-1pp*	*-1pp*
営業利益	**8,193**	**3,757**	**>2x**	**>2x**	**1,234**	**1,094**	**13**	**14**
営業利益率	*17.9%*	*8.5%*	*+9pp*	*+10pp*	*10.3%*	*9.8%*	*+1pp*	*+1pp*
純金融費用	(1,282)	(1,251)	2	1	(337)	(315)	7	3
合弁事業および関連会社	(12)	(5)	>2x	>2x	-	(1)	(99)	(99)
税引前利益	**6,899**	**2,501**	**>2x**	**>2x**	**897**	**778**	**15**	**18**
税金	(938)	792	n/m	n/m	62	124	(51)	(67)
税率	14%	-32%			-7%	-16%		
税引後利益	**5,961**	**3,293**	**81**	**96**	**959**	**902**	**6**	**4**
EPS（1 株あたり利益）	**$3.84**	**$2.12**	**81**	**96**	**$0.62**	**$0.58**	**7**	**5**

Table 13：報告ベースとコア財務指標の調整：2023 年通年

	報告ベース	組織改編	無形資産の償却および減損	アレクシオンの買収	その他[10]	コア	コア増減 (%)	
2023 年通年	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**実績**	**CER**
総利益	**37,543**	**109**	**32**	**119**	**(3)**	**37,800**	**6**	**9**
製品売上総利益率	*81.1%*					*81.7%*	*+2pp*	*+2pp*
流通費用	(539)	-	-	-	-	(539)	1	2
研究開発費	(10,935)	212	447	7	2	(10,267)	8	9
販売費・一般管理費	(19,216)	207	3,801	11	1,458	(13,739)	7	9
総事業費	(30,690)	419	4,248	18	1,460	(24,545)	7	9

その他営業収入・費用	1,340	(61)	-	-	-	1,279	>2x	>2x
営業利益	**8,193**	**467**	**4,280**	**137**	**1,457**	**14,534**	**9**	**14**
営業利益率	*17.9%*					*31.7%*	*+2pp*	*+2pp*
純金融費用	(1,282)	-	-	-	298	(984)	1	(1)
税金	(938)	(107)	(809)	(32)	(405)	(2,291)	11	17
EPS	**$3.84**	**$0.23**	**$2.24**	**$0.07**	**$0.88**	**$7.26**	**9**	**15**

Table 14：報告ベースとコア財務指標の調整：2023 年第 4 四半期

	報告ベース	組織改編	無形資産の償却および減損	アレクシオンの買収	その他	コア	コア増減 (%)	
2023 年 第 4 四半期	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**100 万ドル**	**実績**	**CER**
総利益	**9,716**	**(24)**	**8**	**37**	**1**	**9,738**	**11**	**11**
製品売上総利益率	*79.6%*					*79.8%*	*+3pp*	*+2pp*
流通費用	(145)	-	-	-	-	(145)	(7)	(9)
研究開発費	(3,073)	95	61	2	1	(2,914)	15	14
販売費・一般管理費	(5,371)	44	938	4	351	(4,034)	13	12
総事業費	(8,589)	139	999	6	352	(7,093)	13	12
その他営業収入・費用	107	-	-	-	-	107	(17)	(15)
営業利益	**1,234**	**115**	**1,007**	**43**	**353**	**2,752**	**5**	**6**
営業利益率	*10.3%*					*22.9%*	-	-
純金融費用	(337)	-	-	-	78	(259)	5	1
税金	62	(26)	(192)	(10)	(76)	(242)	7	4
EPS	**$0.62**	**$0.06**	**$0.53**	**$0.02**	**$0.22**	**$1.45**	**5**	**7**

利益および損益要因

売上総利益

- 報告ベースおよびコアの製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益および協業収益の影響は除外されています。
- 2023 年通年の製品売上総利益率（報告ベースおよびコア）の変動は以下の影響を受けました。
  - プロダクトミックスからのポジティブな影響：希少疾患およびオンコロジー製品の貢献は、製品売上総利益率にプラスの影響。バキスゼブリアおよびエバシェルドは、2022 年に製品売上総利益率が希薄化し、2023 年の売上が大幅に減少
  - プロダクトミックスによる希薄化の影響：アストラゼネカは特定の市場において製品売上を計上している一方で、提携パートナーに売上総利益の一部を支払うため、利益分配契約を交わしている製品（リムパーザ、エンハーツ、テゼスパイア、コセルゴ）の売上の貢献度が増加すると、製品売上総利益率にマイナスの影響。*Beyfortus* の成長は、アストラゼネカが製造を担当し、サノフィへの売上を製品売上として計上するため、製品売上総利益率の希薄化に影響。このような製品売上の売上総利益率は当社平均を大きく下回る

  - 地理的要因による希薄化の影響：新興国市場は製品売上総利益率が会社平均を下回る傾向にあるが、COVID-19 関連製品を除く売上収益に占める割合が増加
  - アレクシオン社買収時に認識された在庫公正価値の評価増により、2022 年通年の報告ベースの製品売上総利益は 34 億 8,400 万ドルの影響。この影響は 2023 年通年では 1 億 1,400 万ドルまで減少
- 製品の季節性、為替変動等の影響により、引き続き期中における製品売上総利益率の変動を予想しています。

研究開発費

- 当期の研究開発費（報告ベースおよびコア）の変動には、以下が影響しています：
  - 優先度が高い複数の候補医薬品に関する直近の良好な臨床試験結果に伴う後期臨床試験の開始
  - 研究開発の生産性向上を図るためのプラットフォーム、新技術、能力への投資
- 報告ベースの研究開発費は、無形資産の減損による影響を含みます。

販売費および一般管理費

- 当期の販売費および一般管理費（報告ベースおよびコア）の変動は、主に製品上市に向けた市場開発活動によるものです。
- 報告ベースの販売費および一般管理費は、アレクシオンの買収、その他の買収および提携に関連する無形資産の償却による影響を含みます。
- 報告ベース販売費および一般管理費は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と小野薬品工業株式会社との訴訟和解に関連する引当金繰入額 5 億 1,000 万ドル、およびネキシウムと *Prilosec* に関連した製造物責任訴訟に対する引当金繰入額 4 億 2,500 万ドルの影響も含んでいます。前年では、中外製薬株式会社との訴訟和解金 7 億 7,500 万ドルの影響を含みます。

その他営業収入および費用

- 本年の報告ベースおよびコアのその他営業収入及び費用には、*Beyfortus*（ニルセビマブ）の契約更新による利益 7 億 1,200 万ドル、*Pulmicort Flexhaler* の米国における権利の売却による 2 億 4,100 万ドルの利益、有形資産の売却によるその他収益、および特定の医薬品のロイヤリティを含みます。

純金融費用

- 報告ベース純金融費用は、買収関連債務の割引戻し額の影響を含みます。現金および短期投資に対する受取利息が増加しましたが、流動負債および社債発行の金利上昇により一部相殺されたため、コアの純金融費用は 2%（CER ベースでは 1%）の増加となりました。

税金

- 2023 年 12 月 31 日まで 12 カ月間の報告ベースの実効税率は 14%（2022 年通年：-32%）、コア実効税率は 17%（2022 年通年：17%）でした。いずれも、英国のグループ会社が特定の知的財産を定期的にグループ内で購入した際に生じる繰延税金に対する有利な調整額 8 億 2,800 万ドルを含みます。この調整額は、税務当局による審査および行政不服審査の申立てプロセスの進展、ならびに特定の繰延税金残高の変化に伴う税金負債の更新により相殺されました。
- 2022 年通年の報告ベースの実効税率が低下していますが、これは、アレクシオン事業統合に伴う社内組織再編により生じる繰延税金に関連する 8 億 8,300 万ドルの有利な調整額が含まれるためです。
- 2023 年 12 月 31 日までの 12 カ月間に現金で支払った税額は、23 億 6,600 万ドル（2022 年通年：16 億 2,300 万ドル）、報告ベース税引前利益の 34%でした（2022 年通年：65%）。
- 2023 年 7 月 11 日、英国で財政法（第 2 号）が制定され、世界最低実効税率 15%が導入されました。この法律は、2023 年 12 月 31 日以降に開始する会計期間から適用される国内上乗せ税と多国間上乗せ税を導入するものです。経済協力開発機構（OECD）が具体的な指針を公表し、加盟国がルールを法制化するため、アストラゼネカは潜在的な影響を継続的にモニタリングしています。経営陣は、2023 年のデータに基づいて英国で Pillar 2 ルールが試行されたときの影響を評価しましたが、Pillar 2 の法人所得税は、当社グループが事業を行うほとんどの課税管轄区域で発生しないと予想されます。課税管轄区域によってはアストラゼネカが追加的な税金負債を負う可能性が考えられますが、報告ベースの税率への影響は軽微な可能性が高いと予測されます。

配当金

- 2 回目の中間配当として 1 株当たり 1.97 ドル（156.0 ペンス、20.65 スウェーデン・クローナ）を発表したため、年間配当は 1 株あたり 2.90 ドル（227.8 ペンス、30.29 スウェーデン・クローナ）となりました。
- 通常、配当金は以下のように支払われます。
  - 1 回目の中間配当 - 半期および第 2 四半期の業績と同時に発表し、9 月に支払い
  - 2 回目の中間配当 - 通年および第 4 四半期の業績と同時に発表し、3 月に支払い
- 2023 年の第 2 回中間配当に関する暫定的な日程：配当落ち日：2024 年 2 月 22 日、権利確定日：2024 年 2 月 23 日、支払日：2024 年 3 月 25 日

注：

[1] 恒常為替レート（Constant exchange rates, CER）。実績増減と CER 増減の差は、2023 年対 2022 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に基づく会計処理によるものではありません。

[2] 2023 年 1 月 1 日付で、当社グループは売上収益の表示方法を変更しました。アライアンス収益および協業収益の表示方法の詳細につきましては、要約連結財務諸表注記に記載された作成基準および会計方針をご覧ください。

[3] コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主にアレクシオン買収に関連する費用、無形資産償却費、減損損失、和解費用および構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 13 および Table 14 に記載されています。

[4] COVID-19 の医薬品は、バキスゼブリア、エバシェルド、そして現在開発中の COVID-19 抗体である sipavibart（AZD3152）です。

[5] 報告ベースの製品売上総利益率（以前の「売上総利益率」）およびコア製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益および協業収益の影響が除外されています。

[6] Table 2 において、プラスとマイナスの記号は、議論されている項目の方向性の影響を示します。例えば、研究開発費のコメントの隣にある「＋」記号は、その項目が前年度に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。

[7] グループが重要で継続的な経済的利益を保有していない資産および事業の処分による収入は、引き続き当社の財務諸表において「営業外収入および費用」に計上されます。

[8] BridgeBio Pharma Inc（BridgeBio 社）との提携 – アストラゼネカは日本における acoramidis の商品化権を保有します。

[9] イミフィンジの行に表示する製品売上にはイジュドの製品売上を含みます。

[10] その他の調整には、事業結合に関連する見込みのある対価、無形資産取得によって生じたその他の支払債務、その他の買収関連負債に関する公正価値の調整および割引の解除（注記 4 参照）、ならびに特定の法的事項に関連する予備金の動きが含まれます。このような法的事項関連には、2023 年におけるブリストル・マイヤーズ スクイブ社と小野薬品工業株式会社との法的解決に関連する予備金に対する 5 億 1,000 万ドルの費用、および広域係属訴訟の法的解決に関連する予備金に対する 4 億 2,500 万ドルの費用を含みます（注記 6 参照）。